2023年度 シラバス(1年)

学校法人 平松学園 大分歯科専門学校

5 3 期生 No. 氏名

	授業科目	ページ
	生物学	2
	英語	3
	情報リテラシー	4
	キャリアデザイン	5
	解剖学(組織発生学)	6~8
	生理学	9~11
	口腔解剖学1	12
 1年次前期	口腔生化学	13~14
千次削期	病理学	15~16
	歯科衛生士概論	17~18
	歯科臨床概論	19
	歯周病予防処置1	20
	歯科保健指導1	21
	歯科診療補助(基礎)	22~23
	臨床実習1	24
	健康教育活動1	25
	心理学	26
	医療倫理	27
	プレゼンテーション技法	28
	口腔解剖学2(歯牙解剖)	29
	口腔生理学	30~31
	口腔病理学	32~33
1年次後期	微生物学•口腔微生物学	34~35
	薬理学·歯科薬理学	36~38
	口腔衛生学1	39~40
	歯周病予防処置2	41
	地域歯科保健活動	42
	歯科診療補助(歯科材料)	43~44
	臨地実習1	45

基本情報	1	年 前	前期	専門分野	必須	1 単	位15時間	授業方法(講義)			
科目名					生	物	学				
担当教員	兒山	兒嶋 彰一									
授業概要	生体の	生体の構造を知るために細胞の構造、働きおよび生命現象に関する基本的知識を学びます。									
到達目標	1) 2) 3) 4) 5)	2) 細胞代謝について説明できる3) 遺伝子及び染色体の構造を説明できる4) 有機・無機化合物の特徴を説明できる									
	1)	/	生物に	は細胞からでき	ている(細胞	包をつく	くる物質、生命の	の単位)			
	2)	/			(細別	包内の糸	田胞小器官、細胞	抱の活動)			
	3)	/	細胞⊄	細胞の一生と個体と成り立ち(細胞の一生、単・多細胞生物・ヒトの組織)							
授業計画	4)	/	遺伝と	遺伝と遺伝子(遺伝と法則)							
以 未可固	5)	/		(生命をつくる仕組み、遺伝子を働かせる仕組み)							
	6)	/	内部環	環境を保つ仕組	み(多細胞生	三物の糸	田胞、ホルモン	とその働き)			
	7)	/			(自律神経	ホルモ	モン、生体防御)	・動物の行動と進化			
	8)	/	定期詞	 大験							
成績評価の 方法				総合評価 筆記試験を行い	小、100点	満点の	60点以上を合	格とします。			
テキスト	歯科衛	· 有生学:	シリー	ズ 生物学	医歯薬出版株	式会社					
参考図書											
その他											

基本情報	1 4	年 前	前期	専門分野	必須	1単位15時間	授業方法(講義)			
科目名	英語									
担当教員	藤原 和彦									
授業概要		歯科で必要とされる語学の基礎力を身につけるために、読む・書く・聞く・話すに関する基 本的知識と能力を学びます								
	1)	易しい	外国語	唇で書かれたゞ	て章を読んで、	内容説明ができる				
到達目標	目標 2) 短い日本文を文法にかなった外国語に直すことができる									
	3)	外国語	吾の日常	営会話を聞いて	て内容を説明で	きる				
	1)	/	Unit1	I'm a den	tal hygienist.	(英語で話そう。自分	、家族について)			
	2)	/	Unit4	May I ha	ve your name:	(受付)				
	3)	/ Unit5 I have a toothache. (よくある症状)								
 授業計画	4)	/	Unit6 I'd like to make an appointment for Friday. (予約)							
汉米市四	5)	/	Unit7	Unit7 This tooth is decayed. (一般歯科用語)						
	6)	/	Unit1	.1 Come thi	is way, pleas	e. (動作part1)				
	7)	/	Unit1	2 The docto	or will take sor	ne X-rays of your teeth	n. (動作part2)			
	8)	/	定期討	験						
成績評価の	定期詞	大験の月	成績で記	— <u>————</u> 平価。						
方法	なお、定期試験は筆記試験を行い、100点満点の60点以上を合格とする。									
テキスト	歯科用	歯科用英語ハンドブック -即戦力のトレーニング- 著者代表 佐野さつき他								
参考図書										
その他										

基本情報	1 年	下 前期	専門分野	必須	1単位15時間	授業方法 (講義)				
科目名		情報リテラシー								
担当教員	摺崎	· 宏								
授業概要	用する	情報の授受に効果的なコンピューターの利用法を理解し、必要なデータや情報を有効利 用するために、インターネットを利用した情報の収集、開示などに関する基本的知識、 技術及び態度を習得します。								
到達目標	2) 3) 4) 1 5) 4	 2) ワープロソフト、表計算ソフトおよびプレゼンテーションソフトを用いることができる。 3) ソフトウエア使用上のルールとマナーを説明できる。 4) 電子メール、添付ファイルの送信、受信および転送ができる。 5) インターネットのブラウザ検索ソフトを用いて、ホームページを閲覧できる。 								
授業計画	1) 2) 3) 4) 5) 6) 7)	/ 情報を / 情報を / 情報を / 問題角 / ディシ	語信ネットワー 社会における システム なける 望い ないない。 ジタル化・情報 マキュリティー	ーク 法 ましい情報社	達(ワード演習)					
成績評価の	定期試	験の成績で	評価。							
方法	なお	なお、定期試験は筆記試験を行い、100点満点の60点以上を合格とする。								
テキスト	作成	作成プリント								
参考図書	社会	と情報	文部科学省検	定済教科書	開隆堂出版株式会社					
その他										

基本情報	1 年	手 前	前期	専門分野	必須	2単位30時間	授業方法 (講義)						
科目名					キャ	リアデザイン							
担当教員	野嶋 富美子 大分歯科専門学校専任教員												
授業概要	1) 歯科衛生士としてのキャリア形成に向けて、歯科衛生士の活躍の場と役割について理解を深め、自分の将来を描く。												
	2)	社会で求められるコミュニケーション力や課題解決能力等のヒューマンスキルを身につけ 2) る。											
到達目標	1) 2) 3)	2) 社会人として必要なマナー・コミュニケーション能力・文章表現力等を身につける											
	1)	/	① ②	衛生士の役割。 授業の進め方 キャリアについ 社会が求める。	(オリエンテーハて・歯科衛生		oいて						
	2)	/	社会	人としての基础	港的な能力を 身	身につける①(マナーコミ	(ュニケーション力)						
	3)	/	社会人としての基礎的な能力を身につける② (マナーコミュニケーション力)										
	4)	/	社会人としての基礎的な能力を身につける③ (文章表現力/敬語の使い方)										
	5)	/	自分	のキャリアを	デザインする(D(活躍する歯科衛生士の)体験談) 診療所・病院						
	6)	/	自分	のキャリアを	デザインする②	②(活躍する歯科衛生士の)体験談) 診療所・施設						
授業計画	7)	/	自分	のキャリアを	デザインする②	③(自己分析・自分の将来	天像を描く)						
	8)	/]中間試験									
	9)	/				別につける④(文章表現力							
	10)	/				字につける⑤ (手紙・S N	·						
	11)	/				字につける⑥(社会生活の							
	12)					字につける⑦(グループワ	7 ーク) 						
	13)	/			<u> </u>	別につける⑧(電話応対)							
	14)	/			<u> </u>	別につける(総合演習1)							
	15)	/	, ,		逸的な能力を 身	別につける(総合演習2)							
成績評価の	16)	/	削舟	期末試験									
力法	定期詞	式験(中間討	、期末試験) 9割と実技	テスト1割の総合成績で	で評価。						
テキスト	作成っ	プリン	卜等										
参考図書	必要に	こ応じ	て準備	うします									
その他	パワー	ーポイ	ント	プリント									

基本情報	1年	前期	専門分野	必須	2単位30時間	授業方法 (講義)					
科目名		解剖学(組織発生学)									
担当教員	解剖学(前期 1単位20時間):守谷 直史 歯科医院を開業し、歯科診療所の院長として歯科医療に従事。現在、大分歯科専門学校の兼任教員。組織発生学(前期 1単位10時間):木津 鉄之助 歯科医院を開業し、歯科診療所の院長として歯科医療に従事。現在、大分歯科専門学校の兼任教員。										
授業概要					賃造と機能に関する基 ○発生について学びま						
到達目標	 2) 組織 3) 消化 4) 肺循 5) 神経 	 組織の定義を説明し、分類できる。 消化器系の構造と機能を概説できる。 肺循環と体循環を説明できる。 神経系の概略を説明できる。 (ニューロンを含む) 									
授業計画	前期 【解剖学 1) / 3) /	序 第1章 第2章 第2章	②体幹骨: 名 ③上肢骨: 1 ④下肢骨: 1 筋と運動 I (屈曲と伸展 :骨格筋の構造。 筋と運動 II 各部位の筋系 :頸部の筋(の構造、骨の形 育椎、肋骨、胸 上肢帯の骨、自 自由下肢骨(大 ①概説:運動 展・挙上筋と下 構造と収縮機序(心	間骨、胸郭 自由上肢帯(上腕骨・ 基間・漆蓋骨・脛骨 力方向による分類 一間筋・括約筋と散大 (筋線維の構造・収 が筋の構造・心筋の収 を情筋・咀嚼筋) に骨下筋群)	・腓骨など) 筋) 縮機序・筋収縮力学)					
	4) /		:運動単位・神 :反射と随意i		(アセチルコリン)						

	5)	/	試験					
		6) /	第3章 消化・吸収					
	6)		①消化器の構造(ロ・咽頭・食道・胃・小腸・大腸・肝臓・胆嚢・膵臓)					
			第4章 循環 I					
	7)	,	①体循環、肺循環					
	7)		②血管の機能(血圧・血圧の調節)					
			③血液(血液の成分・血液の機能・血液の凝固と溶解・血液型と輸血)					
			循 環Ⅱ					
			①心臓:心臓の内部構造・心臓の血管・心臓の活動電位と心電図					
	8)	/	②動脈系:大動脈弓					
			③静脈系:大静脈·門脈系					
授業計画			④胎児の循環系 リンパ系					
及未可固			第 5 章 神経系 I					
	9)	/	①神経系の構成(神経系の分類・神経系の基本的機構)					
			②中枢神経系(脊髄・延髄・橋・中脳・小脳・間脳・大脳)					
			第5章 神経系 I					
	10)	/	③末梢神経系(脳神経・脊髄神経・自律神経)					
			④神経系の主な伝導路(反射経路・求心性伝導路・遠心性伝導路)					
	11) / 試験							
	【組織発生学】							
			細胞と組織					
			①細胞:細胞の構造と機能(細胞膜・細胞内小器官・核)					
			②細胞の一生:細胞分裂					
			③細胞の基本的生理機能					
	12)	/	: 細胞膜の透過性・物質代謝・電気現象・細胞内カルシウムイオンと細胞内過程					
	12)							
授業計画			④組織:上皮組織(扁平上皮・円柱上皮・立方上皮・移行上皮)					
以 从阳四			筋組織 神経組織					
			⑤支持組織:結合組織·軟骨組織					
			骨組織・筋組織(骨格筋、心筋、平滑筋)・神経組織(神経細胞)					

			発生						
			①染色体と減数分裂:染色体と遺伝子の関係・常染色体と性染色体						
	13)	/	②受精と着床:受精・卵割と着床						
			③胚葉の形成:三層性胚葉(三胚葉の形成・外胚葉・内胚葉・中胚葉)						
			④胎児の成長と発育:鰓弓と頭頸部の発生						
			顔面と口腔の発生						
			①鰓弓の形成:鰓弓とは・鰓弓の間葉・鰓弓軟骨・鰓弓動脈と鰓弓神経						
	14)	/	②顔面と口唇の形成:前頭突起と第一鰓弓・内側鼻突起と外側鼻突起						
			・上顎突起と下顎突起・口唇と口腔前庭の発生						
			③口蓋と鼻腔の形成:一次口蓋と鼻窩・二次口蓋の形成・口腔と鼻腔の分類						
			④舌の形成 腺の形成						
			歯と歯周組織の発生						
		/	①先行歯の発生 : 歯堤形成・蕾状期歯胚・帽状期歯胚(エナメル器/歯乳頭/歯小嚢)						
	15)		・						
			②代生歯および加生歯の発生						
			③歯の萌出・歯の脱落と交換						
授業計画			歯および歯周組織の構造と機能						
			①エナメル質:概要・性状・構造・構造物						
			②象牙質・歯髄複合体:象牙質の構造、						
	16)	/	歯髄の構造(象牙芽細胞・細胞希薄層・細胞稠密層)、加齢変化						
			③セメント質:概要・分類・構造						
			④歯根膜:概要・機能・構造(マラッセ上皮遺残)						
			⑤歯槽骨:概要と機能・構造						
	17)	/	試験						
成績評価 の	定期詞	式験の	の成績で評価。						
方法	なま	3、5	定期試験は筆記試験を行い、100点満点の60点以上を合格とする。						
	歯科領								
-2-1		D解音	刊学・組織発生学・生理学						
テキスト	Ć.	②口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学							
			全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版株式会社						
参考図書									
その他									
- · L									

基本情報	1 4	年 前期	専門分野	必須	2単位30時間	授業方法 (講義)					
科目名		生理学									
担当教員		河野 俊夫 歯科診療所にて歯科医療に従事。 現在、大分歯科専門学校の兼任教員および臨床実習医院指導教員。									
授業概要	人体の	成り立ちを理	解するために	、体の機能に	関する基本的知識を	学びます。					
到達目標			構造と機能を会 説明し、老化の								
	1)	①骨格 / :筋絲 ②心筋	筋と運動 筋の構造と収約 緑維の構造・収約 の構造と収縮模 筋の構造と収縮	宿 機序・筋収縮 幾序:構造・↓	計力学(単収縮と強縮) 収縮特性						
	2)	⑤反射 ⑥随意	④運動ニューロン:運動単位・神経筋接合部 ⑤反射:脊髄反射、伸張反射、拮抗反射、筋紡錘 ⑥随意運動:皮質運動関連領域:一次運動野・大脳基底核・小脳 ⑦筋電図								
	3)	口腔明明の小腸		: 消化器系・流 垂液腺、) 口部、咽頭流 重動、上皮、) 胆汁、運動、 運動・排便	吸収)						
授業計画	4) /	第4章 ①血管 / ②血液	循環 の機能:血圧 :血液の成分 (一次止血、1	・血液量の調節・血液の機能 二次止血)、	節・血圧の調節・ショ ・血液の凝固と溶解 線溶系(プラスミン) 式血液型・輸血						
	5)	②動脈 / ③静脈 ④胎児	血管・拍動の 系:上行大道服 系:大静脈系 の循環系 パ系:リンパ質)コントロー/ 派・大道脈弓 ・門脈系	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	<u> </u>					

		第 5 章 神経系 I							
6)	/	 ①神経系の構成:分類(求心性神経、遠心性神経)・基本構造・							
		基本的機能(神経細胞の興奮と伝導)・神経線維の種類と機能・シナプス							
		神経系Ⅱ							
-		①中枢神経系:脊髄・延髄・橋・中脳・小脳・間脳(視床と視床下部)							
7)	/	: 大脳(運動野、体性感覚野、連合野)							
		②脳脊髄膜:硬膜・クモ膜							
8)	/	中間試験							
		神経系Ⅲ							
9)	/	①末梢神経系:脳神経・脊髄神経系(走行と分布)							
		②自立神経系:交感神経·副交感神経							
		第6章 呼吸							
		①呼吸とは・外呼吸と内呼吸							
		②呼吸器の構成							
10)	/	: 上気道・咽頭(上咽頭、中咽頭、下咽頭)・喉頭							
10)	′	: 下気道・肺(肺、気管、気管支、肺胞嚢・肺胞、肺の血管)							
		③胸郭の構造と換気の仕組み							
		④肺気量と換気量・肺胞および組織におけるガス交換							
		⑤血液中の酸素と二酸化炭素の運搬(重炭酸オインによる緩衝作用)							
		第7章 感覚							
		①体性・内臓感覚:皮膚の感覚・内蔵の感覚・痛覚							
		②外皮:皮膚の構造・皮膚の付属器・粘膜(粘膜固有層、粘膜下組織)							
11)	/	③皮膚の感覚装置:自由神経終末、メルケル小体、マイスナー小体、							
		ファーター・パチニ小体、クラウゼ小体、							
		ゴルジ・マッツォニ小体、ルフィニ小体							
		④特殊感覚器の構造と機能:視覚器・平衡感覚器・味覚器・聴覚機							
		第8章 排泄							
12)	/	①排泄とは・排便・皮膚からの排泄							
		②排尿:意義・一般的性質・尿の生成(腎臓、尿管、膀胱、尿道)							
		第9章 体温							
		①体熱の産生:エネルギー代謝・体熱の産生・体温調節のための熱産生							
13)	/	②体熱の放散: (伝導、対流、放射、水分蒸散)							
10)	′	体温調節のための熱放散							
		③体温の調節:機構(感覚器、体温調節中枢、効果器							
		④体温の変動:発熱							
		第10章 内分泌							
		①内分泌器官とホルモン:内分泌とは・種類							
14)	/	②内分泌器管の構造と機能:下垂体(前葉、後葉)・甲状腺・上皮小体・							
		膵臓・副腎・性腺・松果体							
		③その他のホルモン							
		L							

授業計画

			第11章 生殖
	15)	/	①生殖器:男性生殖器·女性生殖器
授業計画			②性周期:子宮周期・卵巣周期と排卵・基礎体温・性周期関連ホルモン
	16)	/	期末試験
成績評価の	定期詞	犬験 (中間試験・期末試験)の成績で総合評価する
方法	なお	、定期	明試験は筆記試験を行い、100点満点の60点以上を合格とする。
テキスト	歯科律	5生学	シリーズ 解剖学・組織発生学・生理学:医歯薬出版株式会社
参考図書			
その他			

基本情報		1 年前		専門分野	必須	2単位30時間	授業方法 (講義)					
科目名		口腔解剖学1										
担当教員		河野 益広 歯科医院を開業し、歯科診療所の院長として歯科医療に従事。 現在、大分歯科専門学校の兼任教員。										
授業概要	口腔と	額面、口腔およびその周囲組織の成り立ちを理解するために、 口腔とその周囲組織の構造と機能に関する基本的知識を学びます。										
到達目標	2) 3) 4) 5) 6)	3) 三叉神経と顔面神経の走行と線維構成を概説できる。4) 顎関節の構造と機能を概説できる5) 下顎の運動を概説できる										
	前期		ロルとに	○ 和如公 □ □	╆╏╟╏ (⊢╓╈ ╩	皮 田七日晩 ての火味	#1					
	1)	/				庭・固有口腔・舌の粘膜	·					
	2)	/	,			と顔面頭蓋・頭蓋前面・						
	3)	/				面・頭蓋側面・頭蓋下面	田・垻蓋内田					
	4)	/			顎骨(突起)、	· ·						
		5) / 口腔を構成する骨④ 下顎骨(突起、各部名称)、舌骨										
		6) / 頭頚部の筋と作用① 顔面筋(口の周囲の筋)・舌筋(内舌筋、外舌筋) 7) / 原羽部の筋と作用② 四瞬筋 (おか、原は、作用)										
授業計画	8)	7) / 頭頚部の筋と作用② 咀嚼筋(起始、停止、作用) 8) / 中間試験										
授業計画	9)	/	頭頚部の	 筋と作用③ 頸部の筋:胸鎖	乳突筋・舌骨上)	筋群・舌骨下筋群・顎下三	 - - - - - - - - - - - - - - - -					
	10)	類関節										
	11)	/	口腔付近	に分布する脈管	管系①動脈系:	総頸動脈・内頸動脈・タ	卜頸動脈					
	12)	/	口腔付近	に分布する脈管		頭頸部の動脈と静脈の遺 部、頸部のリンパ節、扁						
	13)	/	口腔付近	に分布する神経	至①(神経:脳	神経① 三叉神経、顔面	面神経)					
	14)	/	口腔付近	に分布する神経	至②(神経:脳	神経② 舌咽神経、迷走	全神経、舌下神経)					
	15)	/	口腔付近	に分布する神経	至②(頭頸部に	分布する脊髄神経・自律	津神経)					
	16)	/	期末試験									
成績評価の	定期試	験の原	战績で評価	10								
方法	なお	、定期	期試験は筆	記試験を行い	、100点満点	(の60点以上を合格と	する。					
	歯科衛	生学	ンリーズ	人体の構造と	機能①							
テキスト		口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学										
授業計画	全国歯	科衛生	<u>生士教</u> 育協	議会 監修	医歯薬出版株式	会社						
参考図書	自分で	つくる	るぬりえ	口腔解剖学ノ	ート 学建書	·院						
その他												

基本情報	1年 前期 専門分野 必須 1単位15時間 授業方法(講講										
科目名		口腔生化学									
担当教員	川_		医院を開	業し、歯科診療 科専門学校の親		で歯科医療に従事。					
授業概要		デキストを用いて、口腔における生命現象を分子レベルの化学反応から理解するため こ、口腔における物質の代謝と機能に関する基本的知識を学びます。									
	1)	上) 生体の構成要素(細胞・水・栄養素)について説明できる。									
	2)	歯と	歯周組織(結合組織、歯	の無機質・有機	幾質)の生化学につい	て説明できる。				
到達目標	3)		織(血清カ できる。	ルシウム濃度	の調節、石灰作	と・脱灰・再石灰化)	の生化学について				
	4)	生体	におけるか	亘常性の維持 に	こついて説明で	きる。					
	5)	デン	タルプラー	ークの生化学(う蝕・歯周疾息	息)について説明でき	る。				
	1)	/	②生体の	.,		ドリア・小胞体・リン	ソソーム他)				
	2)	\	エネルギー代謝 ①糖質(解糖・グリコーゲンの合成と分解・電子伝達系) ②脂質(β酸化) ③タンパク質(脱アミノ反応・脱炭酸反応・タンパク質の合成) ④恒常性の維持(血液の緩衝能・血糖値)								
授業計画	3)	/	①結合組 ②主な細 ③ヒドロ	胞外マトリック キシアパタイ	クスの構造と機 ト等を含む歯σ	ぱく質・プロテオグ 後能、合成と分解)無機成分 ・象牙質とエナメル§					
	4)	/	②歯と骨 ③血清カ ンD)	のカルシウム る の石灰化の仕組	且み(リモデリ	ング・骨芽細胞・破 ルモン・カルシトニ:					
	5)	/	唾液の生 唾液中の	化学 無機質と有機質	質の種類と作用						
	6)	/	①プラー	7の形成・プラ	- 発症機構ー多因	3子性疾患としてのう 産生・菌体外多糖・1					

	7)	7) / ②プラークによる口臭発症機構 ③プラークによる歯周疾患発症機構(細菌活性・生体防御機構と炎症反応 リポ多糖)							
	8)	/	定期試験						
成績評価の 方法	定期記	代験の	成績で評価します。						
方法	なお、	定期]試験は筆記試験を行い、100点満点の60点以上を合格します						
テキスト		f科衛生学シリーズ 人体の構造と機能 2 栄養と代謝 全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版株式会社							
参考図書									
その他									

基本情報	1年 前	前期	専門分野	必須	1 単位15時間	授業方法 (講義)				
科目名	病理学									
担当教員	1989年九州 1991年6月	1989年九州歯科大学大学院卒業後、歯科医院に勤務								
授業概要	予防に関すまた、歯科	テキストならびに参考文献を用いて病気の原因や成り立ちおよび診断、治療ならびに 予防に関する知識を、病理概説と口腔病理に分けて説明する。 また、歯科衛生士として口腔病理や全身疾患の理解に必要な疾病の基礎については 時に強調する。								
到達目標	2) 遺伝(3) 循環(4) 代謝(5) 刺激· 肉芽(6) 炎症(病因(内因・外因)と疾病の成り立ちについて説明できる 遺伝性疾患及び先天異常(奇形を含む)について説明できる 循環障害によっておこる疾患を説明できる 代謝障害と退行性病変およびその種類を列挙し、説明できる 刺激や障害に対する能動的反応の種類、創傷治癒や再生、重要な役割をはたす肉芽組織について説明できる 								
	1) /	2章:ji	遺伝性疾患と	ム) および 奇形	外因の種類 遺伝病、染色体異常) ③奇形				
	2) /		②閉塞性の循	血、うっ血、 環障害	出血、浮腫、ショック 動脈硬化症 の定詞					
授業計画	3) /		・変性の定 ②萎縮、細胞 ・萎縮の種	変性と物質代認 義および分類。 死 類(特に廃用性	と主な病気	シスの定義と違い				

			5章:増殖と修復
			①肥大と増生(過形成)、化生、再生と修復
			・肥大・化生・再生の定義、再生能による分類
	4)	/	②創傷治癒
			・肉芽組織に関わる細胞の種類、創傷の治癒形式(一次・二次)
			③異物処理
			・器質化、被包の定義
			6章:炎症と免疫応答異常(1)
			①炎症に関与する細胞とケミカルエディエーター
			②炎症の経過と転帰
			③炎症の分類
	5)	/	5 大徴候
			・変質性炎・滲出性炎(特に分類)、特異性炎(疾患名)
			・時間による分類―急性・慢性、
			④感染症と微生物の関係
			・日和見感染
			6章:炎症と免疫応答異常(2)
			(6)免疫応答 ※微生物学でも取り扱う
授業計画			①免疫とは
			・免疫応答のメカニズム(液性・細胞性)の種類と関係する細胞
	6)	/	②アレルギーおよび自己免疫疾患
			・アレルギーの分類(I型~IV型)と代表疾病
			・自己免疫疾患、免疫不全症、移植免疫の代表疾患
			7章:腫瘍
	7)		①腫瘍の概説、腫瘍の発育進展、腫瘍の発生
	7)	_	・定義、原因、発生母組織による分類(上皮性・非上皮性)
			②腫瘍の種類と性質
			・悪性度による分類(良性・悪性)、腫瘍の診断
	8)	/	前期試験
成績評価の	前期詞	は験の	成績で総合評価する
方法	なお、	定期	試験は筆記試験を行い、総合平均点が100点満点の60点以上を合格
	とする		
			い 川 ・
テキスト			:シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 1 腔病理学:全国歯科衛生士教育協議会編集 医歯薬出版
	\\ 1,1 <u>\</u>		
参考図書			
その他			

1年 専門分野 必須 2単位30時間 授業方法 (講義) 日本	•	, , , , ,										
福田 仁一 歯科医師として、九州歯科大学教授、附属病院長、学長、医療法人社団二成会 新育合か 五総合物院館料口腔外科研究所所及全種で、現在は大分庫科理中学校校及として動物。更 大きストを用い、歯科極生学を通して、体科極生活動のための知論を理解し、歯科衛生 込のもとでの事務他主業務について学ぶ。この中で医療安全、医療倫理、医療保険制度に 2) 維料衛生学を展設できる。 2) 雌科衛生・過程のプロセス、構成要素を説明できる。 6) 歯科衛生・過程のプロセス、構成要素を説明できる。 6) 歯科衛生・一の事情を含めるにあたり ①10の中の病気、②タバコの健康被害、③歯以外の病気 第1章 歯科衛生・理論を始めるにあたり ② 10回の中の病気、②タバコの健康被害、③歯以外の病気 第1章 歯科衛生・理論を始めるにあたり ② 10回の中の病気、②タバコの健康被害、③歯以外の病気 第1章 歯科衛生・型とし ② 当科衛生・世睫疾、③予防の概念 第2章 歯科衛生の歴史 ② 16月 4月			1年					授美万法(講義)				
担当教員	科目名					密科 衛生	士 概 論					
接入機要	担当教員	歯科医 丘総台	・ 医師とし お病院歯	科口腔								
2) 歯科衛生工法を説明できる。 3) 歯科衛生の科学的思考の意義を説明できる。 4) 歯科衛生過程のプロセス、構成要素を説明できる。 6) 歯科衛生土機論を始めるにあたり	授業概要	法のも	っとでの	歯科律	5生業務につい	して、歯科衛 て学ぶ。この	生活動のための理論 中で医療安全、医療	を理解し、歯科衛生士倫理、医療保険制度に				
3) 歯科衛生の科学的思考の意義を説明できる。 4) 歯科衛生過程のプロセス、構成要素を説明できる。 5) 患者の権利と医療の責務を説明できる。 6) 歯科衛生土概論を始めるにあたり ①口の中の病気、②タバコの健康被害、③歯以外の病気 第1章 歯科衛生土機論を始めるにあたり ②自科衛生と健康、③予防の概念 第2章 歯科衛生の歴史 3) 5/12 ①歯科衛生・受験、②歯科衛生の誕生と経緯 ③米国におけるDental hygienistの誕生、④歯科衛生の背景 第3章 歯科衛生活動のための理論 4) 6/9 ①直科衛生の考え方・科学的思考 ②歯科衛生に関連したヒューマンニーズ 第4章 歯科衛生過程 5) 6/16 ②歯科衛生過程とは ②歯科衛生・設理の流れ 第5章 歯科衛生・送と歯科衛生業務(1) 6) 6/23 ③リスクメネージメント 8) 7/7 中間試験 第72章 歯科衛生土法と歯科衛生業務(3) ④咳染子防対策 第6章 歯科衛生土と医療倫理(1) 10) 7/21 ①倫理とは		1)	歯科衛	生学を	概説できる。							
1		2)	歯科衛	生士法	を説明できる。	0						
### 14	7011年日 1年	3)	歯科衛	生の科	学的思考の意	義を説明でき	る。					
(a) 歯科衛生土の専門性を概説できる。 (b) 歯科衛生土機論を始めるにあたり (c) ①ロの中の病気、②タパコの健康被害、③歯以外の病気 (c) 第1章 歯科衛生学とは (c) ①歯科衛生と健康、③予防の概念 (c) 第2章 歯科衛生の歴史 (c) ①歯科医学の歴史、②歯科衛生の誕生と経緯 (c) ③米国におけるDental hygienistの誕生、④歯科衛生の背景 (c) 第3章 歯科衛生活動のための理論 (c) 歯科衛生に関連したヒューマンニーズ (c) 第4章 歯科衛生過程 (c) 歯科衛生過程 (c) 歯科衛生過程とは (c) 歯科衛生過程とは (c) 歯科衛生過程とは (c) 歯科衛生上法と歯科衛生業務(1) (c) (d) 歯科衛生土法と歯科衛生業務(2) (d) リスクメネージメント (e) 7/14 (e) 85章 歯科衛生土法と歯科衛生業務(3) (e) 3リスクメネージメント (e) 7/14 (f) 66章 歯科衛生土法と歯科衛生業務(3) (f)	到 達 日倧	4)	歯科衛	生過程	のプロセス、	構成要素を説	明できる。					
1		5)	患者の	権利と	医療の責務を	説明できる。						
1) 4/14 ①口の中の病気、②タバコの健康被害、③歯以外の病気 第1章 歯科衛生学とは ①債科衛生上業務の理論的・実践的根拠 ②歯科衛生と健康、③予防の概念 第2章 歯科衛生の歴史 3) 5/12 ①歯科医学の歴史、②歯科衛生の誕生と経緯 ③米国におけるDental hygienistの誕生、④歯科衛生の背景 第3章 歯科衛生活動のための理論 6/9 ①歯科衛生の考え方ー科学的思考ー ②歯科衛生過程 5) 6/16 ①歯科衛生過程とは ②歯科衛生過程の流れ 第5章 歯科衛生士法と歯科衛生業務(1) 6) 6/23 ①歯科衛生士法と歯科衛生業務(2) ③リスクメネージメント 8) 7/7 中間試験 第5章 歯科衛生士法と歯科衛生業務(3) ④感染予防対策 第6章 歯科衛生士と医療倫理(1) 7/14 ①倫理とは		6)										
(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)				歯科衛	生士概論を始	めるにあたり						
2) 4/28 ①歯科衛生と健康、③予防の概念 第2章 歯科衛生の歴史 ②歯科衛生の歴史、②歯科衛生の誕生と経緯 ③米国におけるDental hygienistの誕生、④歯科衛生の背景 第3章 歯科衛生活動のための理論 4) 6/9 ①歯科衛生の考え方ー科学的思考ー ②歯科衛生に関連したヒューマンニーズ 第4章 歯科衛生過程とは ②歯科衛生過程の流れ 第5章 歯科衛生士法と歯科衛生業務(1) 6) 6/23 ①歯科衛生力とと歯科衛生素務(2) ③リスクメネージメント 3リスクメネージメント 8) 7/7 中間試験 第5章 歯科衛生士法と歯科衛生業務(3) 4) 7/14 第5章 歯科衛生士と医療倫理(1) 5) 7/21 ①倫理とは		1)	4/14	①口	の中の病気、	②タバコの健!	康被害、③歯以外の症	 				
②歯科衛生と健康、③予防の概念 第2章 歯科衛生の歴史 ③米国におけるDental hygienistの誕生、④歯科衛生の背景 第3章 歯科衛生活動のための理論 (9 歯科衛生に関連したヒューマンニーズ 第4章 歯科衛生過程とは ②歯科衛生過程の流れ 第5章 歯科衛生出とは ②歯科衛生土法と歯科衛生業務(1) (6) 6/23 (1) 歯科衛生土法と歯科衛生業務(2) (3) リスクメネージメント (4) 第5章 歯科衛生土法と歯科衛生業務(3) (4) 感染予防対策 第6章 歯科衛生土と医療倫理(1) (1) 7/21 (1) 倫理とは			1	第1章	 歯科衛生学と	<u></u> :は						
第2章 歯科衛生の歴史 ①歯科医学の歴史、②歯科衛生の誕生と経緯 ③米国におけるDental hygienistの誕生、④歯科衛生の背景 第3章 歯科衛生活動のための理論 ①歯科衛生に関連したヒューマンニーズ 第4章 歯科衛生過程 ②歯科衛生過程とは ②歯科衛生過程とは ②歯科衛生過程とは ②歯科衛生過程とは ②歯科衛生過程とは ②歯科衛生過程とは ②歯科衛生過程の流れ 第5章 歯科衛生士法と歯科衛生業務(1) (1)		2)	4/28	①歯	科衛生士業務	の理論的・実活	践的根拠					
3				②歯	科衛生と健康	、③予防の概念	念					
3米国におけるDental hygienistの誕生、④歯科衛生の背景 第3章 歯科衛生活動のための理論 ①歯科衛生の考え方-科学的思考- ②歯科衛生に関連したヒューマンニーズ 第4章 歯科衛生過程 ②歯科衛生過程とは ②歯科衛生過程の流れ 第5章 歯科衛生士法と歯科衛生業務(1) ②歯科衛生士の役割 第5章 歯科衛生士法と歯科衛生業務(2) ③リスクメネージメント 8) 7/7 中間試験 第5章 歯科衛生士法と歯科衛生業務(3) ④感染予防対策 第6章 歯科衛生士と医療倫理(1) ①倫理とは ①倫理とは			í	第2章	歯科衛生の	·						
授業計画4)第3章 歯科衛生活動のための理論 ①歯科衛生に関連したヒューマンニーズ 第4章 歯科衛生過程 ②歯科衛生過程とは ②歯科衛生過程の流れ6)6/16①歯科衛生過程とは ②歯科衛生出程を強力 ②歯科衛生出法と歯科衛生業務(1)6)6/23①歯科衛生士法と歯科衛生業務(2)7)6/30第5章 歯科衛生士法と歯科衛生業務(2)3)3)スノメネージメント8)7/7中間試験9)7/14第5章 歯科衛生士法と歯科衛生業務(3) ④感染予防対策 第6章 歯科衛生士と医療倫理(1)10)7/21①倫理とは		3)	5/12	①#	耐科医学の歴 り	史、②歯科衛	生の誕生と経緯					
授業計画4)6/9①歯科衛生の考え方-科学的思考- ②歯科衛生に関連したヒューマンニーズ5)6/16①歯科衛生過程5)6/16①歯科衛生過程とは ②歯科衛生過程の流れ第5章 歯科衛生士法と歯科衛生業務(1)6)6/23①歯科衛生士法 ②歯科衛生士法 ②歯科衛生士法と歯科衛生業務(2)7)6/30第5章 歯科衛生士法と歯科衛生業務(2) ③リスクメネージメント8)7/7中間試験9)7/14第5章 歯科衛生士法と歯科衛生業務(3) ④感染予防対策10)7/21①倫理とは				3) \	K国におけるI	Dental hygie	enistの誕生、④歯	科衛生の背景				
 ②歯科衛生に関連したヒューマンニーズ 第4章 歯科衛生過程 ⑤ 6/16 ①歯科衛生過程とは ②歯科衛生出程の流れ 第5章 歯科衛生士法と歯科衛生業務(1) ⑥ 6/23 ②歯科衛生士法 ②歯科衛生士法 ②歯科衛生士法と歯科衛生業務(2) ③リスクメネージメント 8) 7/7 中間試験 第5章 歯科衛生士法と歯科衛生業務(3) ④感染予防対策 第6章 歯科衛生士と医療倫理(1) 10) 7/21 ①倫理とは 			í	第3章	歯科衛生活	動のための理						
第4章 歯科衛生過程 5) 6/16 ①歯科衛生過程とは ②歯科衛生過程の流れ 第5章 歯科衛生士法と歯科衛生業務(1) ②歯科衛生士法 ②歯科衛生士法 ②歯科衛生士法と歯科衛生業務(2) ③リスクメネージメント 8) 7/7 中間試験 第5章 歯科衛生士法と歯科衛生業務(3) 9) 7/14 第6章 歯科衛生士と医療倫理(1) 10) 7/21 ①倫理とは	授業計画	4)	6/9	①雄		 え方-科学的	 思考-					
5) 6/16 ①歯科衛生過程とは ②歯科衛生過程の流れ 6) 6/23 第5章 歯科衛生士法と歯科衛生業務(1) ②歯科衛生士の役割 7) 6/30 第5章 歯科衛生士法と歯科衛生業務(2) ③リスクメネージメント 8) 7/7 中間試験 9) 7/14 第5章 歯科衛生士法と歯科衛生業務(3) ④感染予防対策 第6章 歯科衛生士と医療倫理(1) 10) 7/21 ①倫理とは			_	②雄	- 科衛生に関う	 連したヒュー	マンニーズ					
②歯科衛生過程の流れ 第5章 歯科衛生士法と歯科衛生業務(1) ①歯科衛生士法 ②歯科衛生士の役割 7) 6/30 第5章 歯科衛生士法と歯科衛生業務(2) ③リスクメネージメント 8) 7/7 中間試験 9) 7/14 第5章 歯科衛生士法と歯科衛生業務(3) ④感染予防対策 第6章 歯科衛生士と医療倫理(1) 10) 7/21 ①倫理とは				第4章	歯科衛生過	 J程						
6) 6/23 第5章 歯科衛生士法と歯科衛生業務(1) 7) 6/30 第5章 歯科衛生士法と歯科衛生業務(2) 3リスクメネージメント 8) 7/7 中間試験 9) 7/14 第5章 歯科衛生士法と歯科衛生業務(3) ④感染予防対策 第6章 歯科衛生士と医療倫理(1) 10) 7/21 ①倫理とは		5)	6/16	①雄	科衛生過程	 とは						
6) 6/23 ①歯科衛生士法 ②歯科衛生士の役割 7) 6/30 第5章 歯科衛生士法と歯科衛生業務(2) ③リスクメネージメント 8) 7/7 中間試験 9) 7/14 第5章 歯科衛生士法と歯科衛生業務(3) ④感染予防対策 第6章 歯科衛生士と医療倫理(1) 10) 7/21 ①倫理とは			-	②雄	科衛生過程 (の流れ						
②歯科衛生士の役割 7) 6/30 第5章 歯科衛生士法と歯科衛生業務(2) ③リスクメネージメント 8) 7/7 中間試験 9) 7/14 第5章 歯科衛生士法と歯科衛生業務(3) ④感染予防対策 第6章 歯科衛生士と医療倫理(1) 10) 7/21 ①倫理とは				第5章	歯科衛生士	:法と歯科衛生	 生業務(1)					
7) 6/30 第5章 歯科衛生士法と歯科衛生業務(2) 3リスクメネージメント 8) 7/7 中間試験 9) 7/14 第5章 歯科衛生士法と歯科衛生業務(3) ④感染予防対策 第6章 歯科衛生士と医療倫理(1) ①倫理とは		6)	6/23	①雄	科衛生士法							
7) 6/30 3リスクメネージメント 8) 7/7 中間試験 9) 7/14 第5章 歯科衛生士法と歯科衛生業務(3) ④感染予防対策 56章 歯科衛生士と医療倫理(1) 10) 7/21 ①倫理とは			-	②雄	科衛生士の	役割						
3リスクメネージメント 8) 7/7 中間試験 9) 7/14 第5章 歯科衛生士法と歯科衛生業務(3) ④感染予防対策 10) 7/21 ①倫理とは				第5章	歯科衛生士法	- よと歯科衛生業	 務(2)					
9) 7/14 第5章 歯科衛生士法と歯科衛生業務(3) ④感染予防対策 第6章 歯科衛生士と医療倫理(1) 10) 7/21 ①倫理とは		7)	6/30	③ IJ	スクメネージ	メント						
9) 7/14 ④感染予防対策 10) 7/21 ①倫理とは		8) 7/7 中間試験										
④感染予防対策 第6章 歯科衛生士と医療倫理(1) 10) 7/21 ①倫理とは		0,		第5章	歯科衛生士法	よと歯科衛生業	務 (3)					
10) 7/21 ①倫理とは		9)	7/14	④感	染予防対策							
			1	第6章	歯科衛生士と	医療倫理(1)					
②医の倫理と患者の権利		10)	7/21	①倫	理とは							
				②医	の倫理と患者	の権利						

			第6章 歯科衛生士と医療倫理(2)				
	11)		①歯科衛生と倫理				
			②インフォームド・コンセント				
授業計画			第7章 歯科衛生士の活動と組織(1)				
	12)	9/1	①歯科衛生士の動向				
			②保健・医療・福祉に係る歯科衛生士				
			第7章 歯科衛生士の活動と組織(2)				
	13)	9/8	③歯科衛生活動の場				
			④歯科衛生士と組織				
	14)	9/15	第8章 海外における歯科衛生士				
	14)	9/10	①海外における歯科衛生士の現状				
	15)	9/22	総括講義				
	16)	9/29	期末試験				
成績評価の	定期記	試験の	成績で評価する。なお、定期試験は筆記試験を行い、総合平均点が100				
方法	点満人	点の60	点以上を合格とする。				
テキスト	歯科衛	新生学シ	リーズ 歯科衛生学総論 (医歯薬出版)				
参考図書	よくわ	かる歯	科衛生過程(医歯薬出版)、事例でわかる歯科衛生過程(医歯薬出版)				
その他							

基本情報	-	1年	前期	専門分野	必須	1単位15時間	授業方法(講義)			
科目名		歯科臨床概論								
担当教員	内原	内尾 豊明 (実務経験者) 歯科医院を開業し、歯科診療所の院長として歯科医療に従事。 現在、大分歯科専門学校の兼任教員。								
授業概要	生業務	者の全 务の実	:身的健康状	: 態や全身疾患 :基本的検査(を把握するたど		長患の診断および歯科衛 食査)および全身の一般			
到達目標	1) 2) 3) 4)	2) 歯・歯髄・歯周組織検査に必要な器具・検査の意義を説明できる。3) 放射線の生物的影響を理解し、放射線防護を概説できる。								
	1)	/	歯科診療と	:は						
	2)	/	歯科診療別	Î						
	۵)	/	(歯科診療	 所のスタッフ	歯科診療所	の紹介 歯科診療所に	こおける安全管理)			
	3)	/	歯科診療所	「における業務	ライフステ	ージと歯科診療				
授業計画	4)	/	歯科診療で	ご行うこと (1)診査・検	査・前処置 (2)/	、児歯科			
	5)	/		(3) 歯科矯正	(4)口腔外科				
	6)	/		(5) 歯科保存	(6) 歯周治療				
	7)	/		(7) 歯科補綴	(8) 障害者歯科・	高齢者歯科			
	8)	/	定期試験							
成績評価の	定期詞	定期試験の成績で評価。								
方法	なお、定期試験は筆記試験を行い、100点満点の60点以上を合格とする。									
テキスト	歯科衛	歯科衛生士のための歯科臨床概論 第2版 医歯薬出版株式会社								
参考図書										
その他										

基本情報	14	1年 前期 専門分野 必須 2単位30時間 授業方法(講義)									
科目名	歯周病予防処置 1										
担当教員	野岬	鳥 冨	富美子	(実務経験	渚)						
担当教員	大分菌	歯科専	門学校	(付属歯科診療	寮所)勤務、現石	生に至る。					
授業概要	歯周	・歯科予防処置についての専門知識・技術及び態度を習得するために、その概要を学ぶ。 ・歯周病を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識、技術、お よび態度を習得する									
	1) 歯科予防処置の概念と法的位置づけが説明できる。 2) 歯周病予防とう蝕予防を概説できる。										
到達目標	3)	-									
7年17年	4)					対を説明できる。					
	5) 6)				疾患との関連が の評価方法を記						
		刈家				記明できる。 一 定義・歯科衛生士法の(立男づけ ヱ��抓会				
	1)						业间·200 1/例例必				
	2)	/	Ⅱ編	口腔の基礎知言	敞 口腔・口腔	周囲の構造					
	3)	/		口腔内の付着物	物・沈着物①	プラーク、白質、ペリク	クル				
	4)	/	/ 口腔内の付着物・沈着物② 歯石、ステイン、舌苔								
	5)) / う蝕の原因 (Keyesの3つの輪)、分類									
	6)	歯 歯周病 分類 歯肉炎と歯周炎の臨床的特徴									
	7)	/	歯周病	原因 歯周症	丙が影響を与え	る疾患 P42まで					
授業計画	8)	/	まと	め・復習							
及来们固	9)	/	前期中	間試験							
	10)	/	検査項	目(歯周ポケン	ット・歯の動揺	度・口臭)プロービンク	グ				
	11)	/	分析の	ためのデータ	写真・画像	歯周病・う蝕関する検査	查				
	12)	/	口腔内	の器質的問題の	の把握 口腔内	の観察 検査項目					
	13)	/		(歯・歯	肉・舌・口腔料	は膜・唾液)					
	14)	/	歯面の	付着物・沈着	物の診査(探	計)					
	15)	/	まと	め・復習							
	16)	/	前期期	末試験							
成績評価の	定期試験の成績で評価。なお、定期試験は筆記試験を行い、100点満点の60点以上を合格とする。										
方法											
テキスト	最新菌	歯科衛	生士教	本 歯科予防	処置論・歯科値	呆健指導					
参考図書											
その他											

2023年度	人分图科导門子仪										
基本情報	1年 前期 専門分野 必須 2単位30時間 授業方法(講義										
科目名	歯科保健指導1										
担当教員	衞藤	里美	(実務経験者	•)							
	大分歯科専門学校(付属歯科診療所)勤務、現在に至る。										
授業概要		ンョナル・			の健康を維持・増進す ティケアの基本となる	*					
	1) 選	新科保健 技	旨導の概要を説	明できる。							
	2) 係	2) 保健行動と行動変容の手法を理解し、活用できる。									
到達目標	3) 選	南科衛生 i	過程を理解し、 権	既要を説明でき	きる						
PIALIM	4) 雄	4) 歯科衛生過程の流れに沿って業務記録をまとめることができる。									
			歯科疾患の関連は		-						
	6) 傾		の対象と場の特征			後能・摂食嚥下のしく					
	1)	/ み	生工伝にねり	の圏科体度指	1等の位置・2017日歴版	炎肥・放良嘸下のして					
	2)	/ 口腔	衛生状態の理解	①歯垢染色	の実践(綿棒塗布)						
	3)	/	②各種歯垢染色方法・ブラッシング方法								
	4)	/ 口腔	口腔衛生状態の指数 ①PCR・OHI								
	5)	/	②OHI-S・PHP・P1.I他								
	6)	/ 歯周	歯周疾患・う蝕の指数(PMA・GI・PI・CPI・DMF他)①								
	7)	/ 前期	中間試験								
授業計画	8)	/ 歯周	歯周疾患・う蝕の指数(PMA・GI・PI・CPI・DMF他)②								
	9)	/ 口腔	衛生管理に係わ	る指導①歯ブ	ラシ・歯磨剤						
	10)	/		②ブラ	ッシング方法・デンタ	'ルフロス					
	11)	/		③歯間	ブラシ・タフトブラシ	他					
	12)	/ 口腔	内観察実習 全	体像の理解・	付着物沈着物の理解						
	13)	/ 口腔	衛生状態診査実	習 ①PCR(D .						
	14)	/		② P C R	2						
	15)	/		30H I	• OH I – S						
	16)	/ 前期	期末試験								
成績評価の 方法	定期試験の70%、実技成績(実技点・レポート、出席状況)30%で評価するなお、100点満点の60点以上を合格とする										
テキスト	歯科衛生	生学シリ	ーズ 歯科予防	処置論・歯科	呆健指導/保健生態学/	保健情報統計学					
参考図書											
その他											

基本情報	14	年 前	期	専門分野	必須	2単位45時間	授業方法(講義)				
科目名				7	歯科診療補具	助(基礎)					
担当教員	歯科律	甲斐 加代子(実務経験者) 歯科衛生士として大分市内の歯科医院にて勤務し、その後、大分歯科専門学校付属歯科診療所 こて勤務。									
授業概要				ージにおける歯 び態度を修得		するために、専門的な首	歯科医療の補助に関す				
	1) 2) 3) 4)) 歯科診療補助における歯科衛生士の役割を列挙できる) フォーハンドシステムの基本動作ができる									
到達目標	5) 6) 7)	診療に 感染に スタン	こ応じた こ応じた ダードン	バキューム操作 対応ができる プレコーションが	Fができる ぶできる						
	8) 9) 10) 11)	9) 消毒薬、各種滅菌器械・器具の準備・操作・取り扱い・管理ができる 10) 各材料(印象材・模型材・合着材・接着材・仮着材・仮封材)の取り扱いができる									
	12))種類を説明で	きる						
	【1年	前期]								
			歯科記	診療補助の概2	念 						
			•歯	科衛生士の業	務と診療補助						
	1)		医療安全と感染予防①								
	17	′	・イ	ンシデント・アク	シデント						
			·救	急処置							
			•感	染予防(スタン	ダードプレコーシ	ション・リスクアセスメント)				
			医療多	安全と感染予算	方②						
	۵)	,	・手	指衛生(手指消	肖毒)						
	2)		•消	毒·滅菌							
			• 医	療廃棄物の取	り扱い						
	3)	/	細菌培	養・手指消毒等	実習						
	4)	/	細菌培								
			歯科記		基礎知識①						
	\	,	•歯	科診療室の環	境、構造と設備	(演習)					
	5)	/	•歯	科診療所にお	 ける受診の流れ	,					
			•画	像診断(エック	ス線写真撮影・	口腔内写真)					

			歯科診療における基礎知識②						
	6)		・共同動作(術者・補助者・患者のポジショニング)						
		′	・共同動作(ライティング・フォーハンドデンティストリー・受渡し)						
too site on to one			歯科診療における基礎知識③						
授業計画			・共同動作(バキュームテクニック・スリーウェイシリンジ)						
	7)	/	歯科臨床と診療補助①						
			・保存修復時の診療補助(切削器具・窩洞・レジン充填)						
	8)		共同動作実習(ポジショニング・ライティング・バキューム操作)①						
	9)	/	共同動作実習(ポジショニング・ライティング・バキューム操作)②						
	10)	/							
	-	/	口腔内写真撮影実習①(5枚法)正面観・側面観・咬合面観						
	11)	/	口腔内写真撮影実習②(5枚法)正面観・側面観・咬合面観						
	12)	/	前期中間試験						
	10)		歯科臨床と診療補助①						
	13)		・保存修復時の診療補助(切削器具・窩洞・レジン充填)						
			衛生材料(ロール綿・綿球・ワッテ・ガーゼ)						
	14)	/	歯科臨床と診療補助②						
授業計画		<u> </u>	・隔壁・歯間分離						
授業計画	15)	/	隔壁調整実習						
	16)	/	レジン充填実習(5級窩洞)						
	17)	/	レジン充填実習(3級窩洞)						
	18)		グラスアイオノマセメント充填						
	19)		歯科臨床と診療補助①						
			・保存修復時の診療補助(インレー修復)						
	20)		歯科診療で扱う歯科材料						
		<u> </u>	印象採得(アルジネート印象材)						
	21)	/	アルジネート印象材実習(練和)						
	22)	/	模型材						
	23)	/	アルジネート印象材(採得)・模型材実習						
	24)	/	前期期末試験						
成績評価の	定期詞	式験の月	戈績(7割)と平常点(3割)≪出欠・態度・レポート提出・実技点等≫で評価。						
方法	なね	お、定期	別試験は筆記試験を行い、100点満点の60点以上を合格とする。						
	最新	歯科律	5生士教本						
		①歯科	科診療補助論						
テキスト		②歯科	斗材料						
		③歯の)硬組織·歯髄疾患 保存修復·歯内療法						
			全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版						
参考図書	イラス	トと写真	でわかる歯科材料の基礎 永末書店						
その他									

基本情報	1年 前期	専門分野	必須	1単位45時間	授業方法 (実習)				
科目名			臨床実習	1					
担当教員	臨地実習指導医•	指導歯科衛	生士・専任	教員					
授業概要	協地実習では、履修した講義・実習によって修得した基礎的な知識や技術を論理的 工整理し、それぞれの現場において歯科衛生士の業務の実践に関わりながら、歯科 予防処置、歯科診療補助、保健指導の理解を体系的に深める。 また、歯科医療の現場においてメディカルスタッフの一員としての資質を高め、 チーム医療の体制を理解し、患者・スタッフとのコミュニケーション能力を身に付 ける。								
到達目標	2) メディカルン	2) メディカルスタッフの一員としての役割を学ぶ。							
授業計画	〈地域保健活動〉5月 〈臨地実習〉第1	, , , , , ,			健康教育活動				
成績評価の	実習指導者の評価、	、出席状況、	実習記録等を	総合して評価する)				
方法									
テキスト									
参考図書									
その他									

基本情報	1 年	丰 前	期	専門分野	必須	1単位30時間	授業方法 (演習)				
科目名		健康教育活動1									
担当教員	, , ,	日野 しのぶ 大分歯科専門学校(付属歯科診療所)勤務、現在に至る。									
授業概要		健康教育活動の場で指導するにあたり、3学年がチームを組み対象者に対して適切な口腔 衛生指導が出来るようにするために必要な知識、技能を習得します。									
到達目標	1) 2) 3)	2) 保育所、幼稚園、小学校の口腔保健の実態が把握できる									
	1)	/	健康教	女育活動の目的	確認及び指導	内容の理解(小学校)①					
	2)	/	指導内	容の理解(幼和	推園)②						
	3)	/	健康教	女育活動チーム:	練習(幼稚園・	小学校)①					
	4)	/	健康教	女育活動チーム:	練習(幼稚園・	小学校)②					
	5)	/	健康教	女育活動講話技	術確認(幼稚園	園・小学校)・練習①					
	6)	/	健康教	故育活動講話技	術確認(幼稚園	園・小学校)・練習②					
	7)	/	健康教	故育活動講話技	術確認(幼稚園	園・小学校)・練習③					
授業計画	8)	/	健康教	対育活動チーム	別リハーサル	(幼稚園)					
	9)	/	健康教	対育活動ロール	プレイング(タ	力稚園)					
	10)	/	健康教	対育活動チーム	別リハーサル	(小学校)					
	11)	/	健康教	対育活動ロール	プレイング(小	、学校)					
	12)	/	健康教	対育活動チーム	別打合せ(幼和	性園及びクラスごと)					
	13)	/	健康教	女育活動全体確	認(チーム及び	『指導校毎)①					
	14)	/	健康教	女育活動全体確	認(チーム及て	が指導校毎)②					
	15)	/	健康教	女育活動実施後	の振り返り(評	平価)					
成績評価の	定期試	験での	評価で	でなく、出席状	況・意欲・態	度・レポート提出状況	チェックの合否を				
方法	評価し	単位認	定を行	う(小学校 1 ·	年生のチェッ	ク評価)					
テキスト											
参考図書											
その他											

f	1	谷子 门		沙海	の出体のの時間	極業十分 (審美)	\neg			
基本情報	1年	後期	専門分野	必須	2単位30時間	授業方法(講義)	,			
科目名		心理学								
担当教員 授業概要	活用し 心と行	上野 徳美 (大分大学医学部名誉教授) 心理学は人間の心と行動をよく理解するための学問である。また、研究の成果や技術を 舌用して人間の健康や幸福に寄与する実践的、応用的学問である。この授業では、人の 心と行動に関する基礎的知見について解説するとともに、医療従事者に必要とされるコ ミュニケーションスキルや良好な対人関係を構築するための知識、方法について講説する。								
到達目標	2) 3 3) 3	 知覚、記憶、認知、欲求、感情、行動変容およびパーソナリティについて概説できる。 こころの発達とその要因について概説できる。 こころの健康とその支援について概説できる。 								
	2		知覚と記憶の(・認知の病理	動き (認知症、記憶	 意障害)					
	3	/ 学習	 と行動形成、彳		 会的学習					
	4	/ 感情	・情動・気分、	動機づけ						
	5	/ 感情	・気分と心の(建康、病						
	6	/ 性格	性格・パーソナリティ							
	7	/ パー	パーソナリティ障害、性格の形成と変化							
₩ # 31 mm	8	/ 前期	前期中間試験							
授業計画	9	/ 心の	心の生涯発達(ライフサイクル)							
	10	/ 青年	青年期の発達課題と発達障害							
	11	対人コミュニケーション、非言語コミュニケーション								
	12	/ コミュニケーション技法 (効果的に話を聴く技術)								
	13	/ 自他	尊重のコミュニ	ニケーション	(アサーション)					
	14	/ 集団	行動の心理、賃	集団意思決定0)功罪					
	15	, ,	社会とポジティ	ィブ心理学						
		,,	期末試験							
77372381 11-1		. , , , , ,	・平常点で評							
方法 -	なお、 する。	定期試験	は筆記試験を	行い、総合平	均点が100点満点の	60点以上を合格と				
テキスト	特定の	テキスト	は使用しない							
参考図書	・『医 ・『医 ・『あ ・『新	療系のた 療現場で なたのこ 所版 カウン	めの心理学』 役立つ心理学 ころを科学す ンセリングの記 ンの心』 平	樫村正美・野 』大川一郎・ るver.3」古場 舌』 平木典子 木典子著 朝	医歯薬出版株式会社 村俊明編著 講談社 土田宣明・高見美保編: 和敬・上野徳美他編著 ・著 朝日新聞出版 日新聞出版 徳美・久田満編 あい	北大路書房				
その他										
C */ E										

基本情報	1 ⁴	手 移		専門分野	必須	2単位30時間	授業方法(講義)				
科目名		医療倫理									
担当教員	木灣	木津 由美子									
授業概要		倫理問題に配慮して医療、歯科医療、研究を行うために、生命と医療に関わる倫理の重要 性を学びます									
到達目標	1) 2) 3) 4)	2) 医の倫理に関する規範を概説できる3) 患者の権利を説明できる									
	1)	/	なぜ医	療倫理を学る	ぶのか: 医療征	送事者の基本的義務な ^と	^ ·				
	2)	/	医療倫		見範とバイオニ こ関する規範』						
	3)	/		②バイオエミ	シックス(生命	倫理学)・関わる問題					
	4)	/	生命の	終わりに関れ	つる問題						
	5)	/	インフ	インフォームド・コンセントとは何か							
	6)	/	インフ	インフォームド・コンセントの実際①前半							
	7)	/		実際①後半・患者中心医療							
授業計画	8)	/	後期中	後期中間試験							
	9)	/	研究と	研究と医療倫理:医療倫理の必要性、倫理的配慮の要件、研究への協力依頼							
	10)	/	歯科医	歯科医療倫理を考えるうえで必要な行動:医療現場における人の行動							
	11)	/				: 患者の行動・歯	南科医療従事者の行動				
	12)	/	その他	1歯科医療従事	事者に必要とる	されること:個人情報、	著作権など				
	13)	/	医療倫	う理に関連する	る規範と法令	: 医師、歯科医師の職業	巻倫理に関する規範				
	14)	/				: 歯科衛生士の職業倫理	理に関する規範				
	15)	/				: 患者に関する宣言、図	医学研究の倫理				
	16)	/	後期期	末試験							
成績評価の	定期詞	(験の	成績で	評価。							
方法	なお	à、定	期試験	は筆記試験を	と行い、100)点満点の60点以上を	合格とする。				
テキスト	歯科衛	5生学	シリー	ズ 歯科医療	译倫理学 医菌	東出版株式会社					
参考図書											
その他		_ <u></u>									

基本情報	1 名	年 後期	専門分野	必須	1単位15時間	授業方法 (講義)				
科目名		プレゼンテーション技法								
担当教員	日里	矛 しの.	S.							
授業概要	ゼンテ	プレゼンテーションは学校生活や卒業後の仕事において重要なスキルとなる。学生がプレゼンテーションとは何かを理解し、限られた時間で伝えたいことを伝えたい相手に、最適な手段を用いて伝えることができ、聴き手を納得させる能力を獲得することを目的とする。								
到達目標	2)	2) 目的に応じて効果的なプレゼンテーションのための企画書を作成することができる3) 聴き手を意識した独創性と説得力のあるプレゼンテーションが行える								
授業計画	1) 2) 3) 4) 5) 6) 7) 8)	 プレゼンテーションとは(企画書作成・スピーチについて) プワーポイントについて(例題資料作成) プラーマ別プレゼンテーション準備① プラーマ別プレゼンテーション準備② プラーマ別プレゼンテーション準備③:リハーサルチェック プラーマ別プレゼンテーション準備④:修正・仕上げ プラーマ別プレゼンテーション準備④:リハーサル(PP・話し方含) 								
成績評価の 方法		プレゼンテーション発表の評価(60%)、平常点(40%)※出欠席状況・課題の提出状況・授業態度にて評価する。発表は1人1題とし、評価とする。								
テキスト	授業内]に資料配	布する							
参考図書										
その他										

基本情報	1	年後期	期	専門分野	必須	1単位15時間	授業方法 (講義)			
科目名		口腔解剖学2(歯牙解剖)								
担当教員	河	河野 益広 歯科医院を開業し、歯科診療所の院長として歯科医療に従事。 現在、大分歯科専門学校の兼任教員。								
授業概要		顔面、口腔およびその周囲組織の成り立ちを理解するために、口腔とその周囲組織 の構造と機能に関する基本的知識を学びます。								
到達目標	2) 3) 4)	 2) 永久歯の特徴を説明できる 3) 乳歯の特徴を説明できる 4) 永久歯と比較した乳歯の特徴が説明できる 								
	1)	/		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	の構造と機能 能、交換、植	立、組織、形態)				
	2)	/	H H	歯の形態 (種	類と数、表示	法、歯式、用語)				
	3)	/	出	歯の形態(根	管の形態、歯	の左右の識別)				
₩ 라	4)	/	疗	〈久歯 特徴	、形態学的特	徴 *歯冠・歯根部の	のスケッチ含む			
授業計画	4)			① (上下顎中切歯	、上下顎側切歯、上	下顎犬歯)			
	-/			2 (上下顎第1小	日歯・上下第二小臼1	歯)			
	5)			(上下顎第1大	:臼歯・上下第2大臼	斯)			
	6)	/		乳歯 特	徴 形態学的	特徴				
 	7)	/		特色のある	歯の形態・歯	列と咬合				
授業計	8)	/	試験							
成績評価の	定期詞	式験の	成績	で評価。						
方法	なお	お、定	期試勵	険は筆記試験	を行い、10	○ 点満点の60点以	上を合格とする。			
テキスト	歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能 1 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版株式会社									
参考図書	自分で	でつく	るぬり)え 口腔解	剖学ノート	学建書院				
その他										

基本情報	1年	1年 後		専門分野	必須	1単位15時間	授業方法	(講義)			
科目名					口腔生	理学					
担当教員	松原	松原 祐介 歯科診療所院長として歯科医療に従事 現在、大分歯科専門学校の兼任教員および臨床実習医院指導教員									
授業概要		口腔における生命現象を分子レベルの化学反応から理解するために、口腔における物質の代謝と機能に関する基本的知識を学びます									
到達目標	2)	2) 舌、味覚の構造と機能を説明できる 3) 下顎の運動について説明できる									
	1)	\	①蒾	象牙	圧覚・位置異 質知覚過敏症	常覚・歯髄の感覚・ ・口腔顔面領域の関 温度感覚・痛み	連痛				
	2)	/	①味 感 味 味 法)	受性(味覚閾d 蕾(味覚受容 覚障害と味盲	の識別、摂食 直、部位による 器) 味覚の および味覚検査	行動との関連、消化 5違い、順応) 5神経機構 至(全口腔法、局所活 嗅細胞・神経機構・	去、電気味賞				
授業計画	3)	/	①下 ②下 ③翡	顎の運動:特 運 i反射:閉口反 食行動・咀嚼	静位・咬合嵌 徴・下顎限界 動時の調節に 射(下顎張反射 歯根膜閉口 能力・吸啜	合位・中心位と中心 運動・咀嚼筋の特性 働く神経系 対 [単シナプス反射] 口筋反射、閉口反射)	•				
	4)	/	嚥下	•	かる構造:咽	頭の構造(上咽頭、 群(口蓋筋/舌骨筋郡					
	5)	/	嚥下	・嚥下時の食	の流れ(認知 塊の動き(嚥 通過、食道へ	期、咀嚼期、口腔期 下の準備、嚥下の開 の流れ)・嚥下時の	始、	 食道期)			

_									
			第7章 発声						
	6)	/	①発声の機構概要・声の生成・言語音の形成						
			②歯・口腔の病態と発音						
			第8章 唾液						
授業計画			①唾液腺:大唾液腺·小唾液腺						
汉米川四	7)		②唾液の分泌機構:腺房部、導管部の分泌機序・						
	7)	/	唾液腺血流の調節機序・唾液腺分泌の神経機序						
			③唾液の性状・成分と機能: 唾液分泌量						
			④唾液と疾患:唾液とう蝕症・唾液と粘膜疾患・歯周疾患						
	8) / 試 験								
成績評価の	空期到	定期試験の成績で評価。							
ル人が見りしにいっ	化	1、駅 (ノ)	加入旗(計画。						
方法			期試験は筆記試験を行い、100点満点の60点以上を合格とする。						
方法	なま	à、定							
	なま	3、定 断生学	期試験は筆記試験を行い、100点満点の60点以上を合格とする。						
方法	なま	3、定 断生学	期試験は筆記試験を行い、100点満点の60点以上を合格とする。 シリーズ 歯・口腔の構造と機能						
方法	なま	3、定 断生学	期試験は筆記試験を行い、100点満点の60点以上を合格とする。 シリーズ 歯・口腔の構造と機能						
方法 テキスト 参考図書	なま	3、定 断生学	期試験は筆記試験を行い、100点満点の60点以上を合格とする。 ジリーズ 歯・口腔の構造と機能						
方法	なま	3、定 断生学	期試験は筆記試験を行い、100点満点の60点以上を合格とする。 ジリーズ 歯・口腔の構造と機能						

基本情報	1 4	年 後	後期	専門分野	必須	1単位15時間	授業方法(講義)					
科目名	口腔病理学											
	口腔	房理	学担当	(後期 1単	位15時間)	山本 晃三						
担当教員	手を約 現在、	2000年九州歯科大学大学院卒業後、佐賀大学医学部麻酔蘇生科医員、九州歯科大学口腔外科助手を経て、大分赤十字病院歯科口腔外科に勤務 現在、大分赤十字病院歯科口腔外科部長 大分歯科専門学校の兼任教員および臨床実習医院指導教員										
		テキストならびに参考文献を用いて、病気の原因や成り立ちおよび診断、治療ならびに										
授業概要	予防に	予防に関する知識を、病理概説と口腔病理に分けて説明する。										
		また、歯科衛生士として必要な口腔領域の疾病の理解については特に強調する。 口 腔病理学										
		口腔病理学 1) 歯の発生異常を分離し、それぞれを列挙説明できる										
	1)			– , , , ,								
	2)				を列挙し、説明							
	3)		-	, , , , , , ,		質、組織学的変化につ	いて説明でさる					
	4) 5)				、分類についる	く祝明できる 生外傷のそれぞれの分割	哲や庁理知徳梅の					
	5)			灰	图问次"以口"	生が一場のですしてすいが	類°~7円上和11家0万					
到達目標	6)				分類レその盾!	因、特徴や全身との関	わりを説明できる					
刊进口体	7)											
	' /	7) 口腔領域の嚢胞・腫瘍の代表的な疾患を分類列挙し、歯原性腫瘍は組織像が 説明できる										
	8)	8) 口腔に発生する口腔癌(前癌病変を含む)を分類説明できる										
	9)											
	10) 唾液腺に発生する病変を列挙し、それぞれの原因・症状を説明できる											
	11)	口腔	領域に	発生する奇形	の種類を列挙	しその対応について説	明できる					
	12)	口腔	組織の	加齢的変化を	列挙し、口腔に	内所見との関連性を説	明できる					
	1)	/	2章:	②構造の異常 ③位置と咬合 歯の損傷と着 ①物理的損傷 ・磨耗症、 ②歯の着色(、形、萌出時 (形成不全)(の異常 の異常 香色・付着物 、化学的損傷 咬耗症、アブ	期の異常と種類(特にの種類と原因(局所的の種類と原因(局所的のである。 フラクション、酸蝕症でである。 プラークと歯石						
授業計画	②歯の着色(外来・内因)、プラークと歯石 3章:う蝕 ①齲蝕の疫学、発生機序、分類 ・Keyesの輪、原因菌とプラーク ②う蝕の分類(う蝕円錐) ・部位、広がり(う蝕円錐)、経過、進行度、二次う蝕 ③齲蝕の組織学的変化 ・エナメル質う蝕の特徴(初期、実質欠損) ・象牙質う蝕の特徴(病巣の各層) ・セメント質う蝕の特徴											
	3)	/	4章:	①歯髄炎の分 ・臨床病態 ・急性歯髄 ・慢性歯髄 ②歯髄の退行 ・歯髄壊死	、病因 炎の分類と特行 炎の分類と特行 性変化、象牙 、歯髄壊疽 三象牙質の特	徴・症状 数 質の増生						

			5章:歯周組織の病態
			①根尖部歯周組織の病変
			・根尖性歯周炎の原因とp分類
			・急性根尖性歯周炎の分類と特徴(急性化膿性Per,急性歯槽膿瘍)
			・慢性根尖性歯周炎の分類と特徴(慢性歯槽膿瘍―内・外歯瘻、
			歯根肉芽腫、歯根嚢胞)
	4)	/	②辺縁部歯周組織の病変
			・構造、病因と発生機序、進行過程、
			・プラーク性歯肉炎・非プラーク性歯肉病変の分類
			慢性歯周炎の病態
			・その他の辺縁部歯周組織の病変(歯肉増殖症、侵襲性歯周炎
			咬合性外傷)
			③エプーリスの特徴と原因
			6章:口腔粘膜の病変 ※口腔外科と重複
			①種類と原因・病態
			・メラニン色素沈着症・ウイルス感染(ヘルペス、コクサッキー)
			・真菌感染症(カンジダ症、義歯性口内炎) ・扁平苔癬
			・自己免疫疾患(天疱瘡・類天疱瘡)・舌炎(貧血に関する)
	ĺ		その他(コプリック斑、フォーダイス斑
			7章:口腔領域の嚢胞と腫瘍 ※口腔外科と重複
		/	①口腔領域の嚢胞
	5)		- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
			・歯原性嚢胞の種類と特徴(特に含歯性嚢胞、歯根嚢胞)
			・顎骨の非歯原性嚢胞の種類と特徴(術後性上顎嚢胞)
			・軟組織の非歯原性嚢胞(唾液腺に関する章で行う)
授業計画			②口腔領域の腫瘍
			・歯原性腫瘍(特にエナメル上皮腫、歯牙腫)
			・非歯原性腫瘍(特に血管腫)
			8章:口腔癌
			・潜在的悪性疾患(前癌病変―白板症・紅斑症)、扁平上皮癌
			①組織観察実習・正常な扁平上皮と扁平上皮癌、エナメル上皮腫の組織
	6)	/	切片標本を観察し、特徴を理解する
	0)	′	9万保本を観察し、付飯を理解する ②確認試験
			9章:顎骨の病変
			* ***
			①顎骨骨髄炎 (特にビスホスホネート関連顎骨壊死)
			②腫瘍様病変 (骨腫)
			③顎関節の病変(顎関節症)
			10章:唾液腺の病変
	ĺ		①唾液腺に発生する病変の分類と病態
	ĺ		・流行性耳下腺炎・シェーグレン症候群・・唾石症
	7)	/	・粘液嚢胞(ガマ腫)・良性腫瘍(多形腺腫、ワルシン腫瘍)
			11章:口腔領域の奇形
	ĺ		①顔面と口腔の披裂 ・口唇口蓋裂の種類
	ĺ		②口腔顎顔面に異常をきたす奇形症候群
	ĺ		・ピエール・ロバン症候群、トリチャーコリンズ症候群
	ĺ		
	ĺ		・ ダウン症候群
			12章:口腔組織の加齢変化
	ĺ		・硬組織(咬耗、第2象牙質、セメント質の肥厚)・歯髄(石灰化)
			・歯周組織(廃用性萎縮) ・関節突起の変形 など
	8)		後期試験
成績評価の	後期記	大験の	成績で総合評価する
方法	なお、	定期	試験は筆記試験を行い、総合平均点が100点満点の60点以上を合格とする
=2-1	歯科衛	5生学	:シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進1 病理
テキスト			理学:全国歯科衛生士教育協議会編集 医歯薬出版
金老四生		ま変の	診断と治療・受建書院
参考図書		ち変の	診断と治療:学建書院

基本情報	1年	後	期専門	月分野	必須	2単位30時間	授業方法	(講義)		
科目名					微生物学	・口腔微生物学				
担当教員		歯科[医院を開業		科診療所の院 校の兼任教員	長として歯科医療に{ 。	华事。			
授業概要						患を理解するために、 機構としての免疫に関				
到達目標	2) 2 3) 4 4) 2 5) 6	 各微生物の特徴、性状を概説できる 感染防御の意義・原理、および化学療法の目的・原理を説明できる 免疫の種類、免疫担当細胞の種類と機能を説明できる 免疫とアレルギーの関係を概説できる 口腔常在菌およびバイオフィルム感染症を概説できる 								
	1)	1章:感染と感染症 ・感染の種類 ・感染経路 2章:微生物の病原性(1)								
	2)		①微生物の位置づけ・原核・真核生物、ウイルス、プリオン							
	3)	/	②細 ・形	菌の性料 態、構造		グラム染色による分類(陽性、陰性) 曲線、細菌毒素の分類(内毒素・外毒素)				
授業計画	4)	/	・真	ケッチブ菌の構造	ア、クラミジ 造と特徴、真i	ア、プリオン、真菌、 菌症、各微生物の特徴		特徴		
	5)	/	④ウ	イルスの	i原性(4) D構造、増殖 ウイルスの分	(寄生性) 類と疾患HBV, HCV, HSV	,VZV, 口腔内	関連ウイルス		
3章:宿主防御機構と免疫(1) ①宿主防御機構 ・非特異的防御機構(皮膚・粘膜など)、自然免疫 ・特異的防御機構(粘膜免疫、全身免疫) ②免疫機構 ・免疫関連臓器(中枢・末梢リンパ組織) ・免疫担当細胞(リンパ球、T・B細胞、マクロファージ、、樹状細胞、 ・免疫の種類(能動免疫、受動免疫)								NK細胞)		
						、受動免投) 免疫疾患とは				

			3章:宿主防御機構と免疫(2)
			③液性免疫
	_、		・抗原と抗体・液性免疫のシステム
	7)	_	・抗原抗体反応の種類と疾患
			④細胞性免疫
			・細胞性免疫のシステム
	8)	/	後期中間試験
			3章:宿主防御機構と免疫(3)
			⑤アレルギー (過敏症)
	9)	/	・アレルギー反応の分類と特徴
			・ I 型〜Ⅲ型と関連する免疫グロブリンと補体
			・IV型の特徴、関係する細胞
			4章:口腔微生物学
			①口腔細菌叢 ・成り立ちと遷移、部位別細菌叢
授業計画	10)	/	②デンタルプラーク
			・初期・成熟プラークの特徴と細菌種の変化
			・バイオフィルム感染症
			5章:口腔感染症
	11)	/	①う蝕・齲蝕病原細菌・ミュータンスレンサ球菌のう蝕病原性
	11)	′	②歯内感染症 ・歯髄炎・根尖性歯周炎に関連する細菌
			③歯周病 ・歯周炎の種類と歯周病原細菌
			・レッドコンプレックス、歯周病菌の病原性分類
			・宿主―寄生体相互作用(特に糖尿病との関連性
	12)	/	④その他の口腔感染症
			・放線菌症、口腔カンジダ症、小児のウイルス感染症、
			誤嚥性肺炎、菌血症と心内膜炎
			6章:化学療法
	13)	/	①化学療法と化学療法薬 ・選択毒性 ・殺菌、静菌作用
		ľ	②主な化学療法薬の種類と特徴
			・抗菌薬の作用機序による分類と主な薬物
			・抗真菌薬の分類と主な薬物
	14)	/	・抗ウイルス薬の分類と主な薬物
			③抗菌スペクトルとは ・感受性ディスク法
			④薬剤耐性とは • MRSA
	\		8章:細菌顕微鏡観察実習
	15)	/	①グラム染色による歯垢細菌の観察(陽性・陰性菌の判別、形態)
	16)		②位相差顕微鏡による運動性細菌の観察
	16)		後期期末試験
□ 成績評価の			各期中間試験・期末試験)の成績で評価。
方法			試験は筆記試験を行い、100点満点の60点以上を合格とする。
テキスト	圏 科 偉	丁玍字	シリーズ 疾病の成り立ち及回復過程の促進2 微生物学
			全国歯科衛生士教育協議会編集 医歯薬出版
参考図書	歯科律	5生士	のための感染予防スタンダード:医歯薬出版
その他			
	-		

基本情報	1年後期	専門分野	必須	2単位30時間	授業方法(講義)					
科目名		•	薬理学・	歯科薬理学						
担当教員	南部 里恵子 歯科医院に勤務し、歯科診療所の副院長として歯科医療に従事。 現在、大分歯科専門学校の兼任教員。									
授業概要		薬物の性質、薬理作用、作用機序および副作用を理解するために、疾病の回復を促進する薬に関する基本知識を学びます								
到達目標	 薬物動 事物の 事物の 事物の 医薬品 各薬物 	 2) 薬物動態(代謝・排泄含む)と薬物の適用方法の種類と特徴を説明できる 3) 薬物の作用に影響を与える要因(連用・併用など)について説明できる 4) 薬物の副作用・有害作用とその原因を説明できる 5) 医薬品の適用と取り扱い、薬物と法律について説明できる 6) 各薬物の薬理作用、種類、作用機序等について説明できる 								
	, , , , , ,	明:30時間) 章:薬物の作用								
	1) /	①薬物療法の ②薬理作用の (身 ③薬理作用の (豆 ③用量反応)基本形式 興奮、抑制、 う分類 主作用、副作 関係と薬用量の	因、対症、予防、補充療 刺激、抗病原微生物、補 用、選択的、非選択的作 の用語、薬理作用の機序 な曲線、受容体を介する	(東京作用) (東用) (東京)					
授業計画	2)	2章:薬物動態 ①吸収、分析 ②薬物動態/ (3章:薬物の適用 の適用方法の ②血中濃度の	5、代謝、排 パラメーター ・生物学的半 方法の種類とり D種類 (特に) D推移 (経に)	<u>世</u> 咸期、クリアランス)	·) ·脈注射)					
	3) /	4章: 薬物の作用に影響を与える要因 ①薬物の連用 ・蓄積、耐性、タキフィラキシー、薬物依存 ②薬物の併用 ・協力(相加・相乗)、拮抗(化学、機能、競合) ③相互作用 ・クマリン系抗凝血薬+NSAID								
	4) /	①薬物の有害 ②薬物の有害 ③ライフスラ ・8章:薬物の耳 ①処方箋、素 ②医薬品医療	等作用の分類。 等作用 一ジと薬物、 取り扱いおよ 薬物の保存方法 乗機器法、日本	服薬指導 び薬物と法律 去 ・条件、容器						

			各論1章:ビタミンとホルモン
			①ビタミンの種類と欠乏症 ※栄養学と重複
			②各ホルモンの働きと疾患 ※生理学と重複
	5)	/	各論2章:末梢神経系に作用する薬物
	,	Í	①交感神経・副交感神経の働き
			②アドレナリン・アセチルコリン受容体
			③交感神経・副交感神経作動薬、遮断薬
			④筋弛緩薬
			各論3章:中枢神経系に作用する薬物
	6)	/	①全身麻酔薬・吸入、静脈麻酔薬・麻酔深度
	0,		②催眠薬、抗不安薬、・GABA受容体
			③抗痙攣薬、抗うつ薬、抗パーキンソン病薬
			各論4章:循環器系に作用する薬物
	7)		①降圧薬、強心薬、狭心症治療薬、脂質異常症治療薬
	()	′	各論5・6・7章:腎臓・呼吸器・消化器系に作用する薬物
			①利尿薬、気管支喘息治療薬、鎮咳薬、抗アレルギー薬
	8)	/	前期中間試験
			各論8章:血液に作用する薬物
	9)	/	①止血機構 ・血液凝固因子 ・止血機構の異常による疾患
			②止血薬(作用機序、全身性・局所性)、抗血栓薬
			各論9章:免疫と薬
授業計画			①免疫抑制薬、抗アレルギー薬、ワクチン
			各論10章:悪性腫瘍と薬
	10)	/	①抗悪性腫瘍薬と副作用
			各論11章:代謝性疾患治療薬
			①糖尿病(1型2型)と治療薬
			②骨粗鬆症治療薬と副作用 (顎骨壊死)
			各論12章:炎症と薬
			①アラキドン酸カスケードと抗炎症薬の作用点
		/	②炎症のケミカルメディエーター
	11)		③ステロイド性・非ステロイド性抗炎症薬と副作用
			各論13章:痛みと薬
			①痛覚伝導路と鎮痛薬
			②麻薬性鎮痛薬(オピオイド系)、NSAID
			各論14章:局所麻酔薬①
			①作用機序と効果に影響を与える因子、血管収縮薬の併用と利点
	12)	/	②化学構造と分類 ・エステル型、アミド型
			③適用法(表面・浸潤・伝達)
		/	予測
			①感染症と抗感染症薬
	13)		・抗菌スペクトル、化学療法薬、選択毒性、有効血中濃度、耐性
			②感染症薬の作用機序による分類と副作用
			・抗菌薬、抗真菌薬、抗ウイルス薬

	14)	/	各論16章:消毒に使用する薬 ※診療補助と重複				
			①作用機序と分類 ・HBV, HCV, HIVに有効な消毒薬				
		/	各論17~20章:歯科医院で処方される薬物				
			①う蝕予防薬 ※予防処置と重複				
授業計画	15)		②歯内療法薬 ※診療補助と重複				
	15)		③歯周疾患治療薬、顎・口腔粘膜疾患と薬				
			・局所投与(LDDS)				
			• 顎関節症、口腔乾燥症、神経疾患治療薬				
	16)	/	後期期末試験				
成績評価の	定期試験(1年次後期中間、期末試験)の成績をもって総合評価する						
方法	なお定期試験は筆記試験を行い総合平均点が100点満点の60点以上を合格とする						
テキスト	歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進3 薬理学:全国歯科衛生士教育協議会編集 医歯薬出版						
参考図書	必要に応じてお知らせします						
その他							

基本情報		1 年後	期	専門分野	必須	2単位30時間	授業方法	(講義)			
科目名	口腔衛生学1										
担当教員	小西 敦子 本校歯科診療所歯科医師として歯科医療に従事した 現在、大分歯科専門学校の兼任教員										
授業概要		テキストを用いて歯・口腔の健康に関わる社会の仕組みを理解し、歯科疾患の予防能力を高める態度を養うために、歯・口腔の健康と予防に関する基本的知識を学びます。									
到達目標	1) 2) 3) 4) 5)	 2) 口腔と全身の健康との関係について説明できる 3) う蝕・歯周疾患・その他の歯科疾患の疫学的特性を概説できる 4) う蝕・歯周疾患・その他の歯科疾患の予防を説明できる 5) う蝕・歯周疾患・口腔清掃状態の指数を説明できる。 									
	1)	方 口腔の構造、発生と 建康)	成長・発育、	機能							
	3)	/	口腔清掃	口腔清排	空の付着物・沈晴の意義 にない にんしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう はいしょう はいしょう はいしょう はいい はいい はいい はいい はいい はい はい はい はい はい はい は	1腔清掃法 人工的	り清掃法の分数 季剤と洗口液・				
	4)	/	歯科疾患	の疫学	う蝕・歯周疾患	は、その他の歯科疾患	息の疫学				
	5)	/	う蝕の予防 う蝕発症のメカニズム う蝕発症要因								
	6)	/	う蝕活動性試験う蝕の予防法								
	7)	/	後期中間	試験							
授業計画	8)	//	フッ化物	によるう蝕	フッ化	のフッ化物応用、これ で で で で で で で で で が で 用 に よ る う 使 き で が で 大 フ に が で が で え で り で り で り で り で り で り で り で り で り	予防方法(歯面	塗布 ·			
	10)	/	う蝕予防メカニズム ライフステージに応じたフッ化物応用 歯周疾患の予防 歯周疾患の症状と分類 発症機序								
	11)	/	歯周疾患のリスクファクター・全身に与える影響 歯周疾患の予防手段と処置								
	12)	/	その他の	疾患・異常の	り予防 ログ	1炎 口腔癌 7	下正咬合	頁関節症			
	13)	/			口臭	上症 口腔乾燥					
	14)	/	ライフス	テージごとの	り口腔保健管理	口腔保健管理の目	目標 母子口腔	空保健			
	15)	/				小児期・成人期・	・老年期の口腔	空保健			
	16)	/	後期期末	試験							

成績評価の	定期試験の成績で評価。							
方法	なお、定期試験は筆記試験を行い、100点満点の60点以上を合格とする。							
	歯科衛生学シリーズ:歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1保健生態学							
テキスト	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み3保健情報統計学							
	全国歯科衛生士教育協議会	監修						
参考図書								
その他								

	1 年 後期 専門分野 必須 2 単位 4 5 時間 授業方法 (演習)										
基本情報	1 牛	俊期 ————	専門分野	必須	2 単位 4 5 時間	授業方法(演習)					
科目名	歯周病予防処置 2										
担当教員	野嶋 富美子 (実務経験者)										
12-1-1/24	大分歯科専門学校(付属歯科診療所)勤務、現在に至る。										
授業概要	・歯周病を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識、技術、および態度を習得する										
	1)	プローブの	種類と操作方法	生が説明でき る	3.						
	2)	口腔内検査	ができ、診査の	の結果が説明で	できる。						
到達目標	3)	ンックルタ	イプスケーラ	一使用目的を理	里解し操作できる。						
	4) キュレットタイプスケーラーを操作できる。										
	5) >	メインテナ	ンス・SPT	の目的、処置に	内容、注意点が説明できん	る。					
	1)	/ 歯科律	5生士介入として	ての歯科予防処	置 スケーラーの構成	基本設定					
	2)	2) / シックルスケーラー 特徴 操作方法									
	3)	/ *マネ	ベキンの取り扱い	ハ 探針・ミラ	一操作(使用方法・固定)) 3つの運動					
	4)	/ *シッ	クルタイプスク	ケーラー(マネ	キン)前歯部(操作・固治	定・ミラー・位置)					
	5)	/ *			臼歯部右側・臼歯	部左側					
	6)	/ *	* 臼歯部右側・臼歯部左側 復習								
	7)	/ *			最終確認練習						
	8)	/ *シッ	*シックルタイプスケーラー 実技テスト								
	9)	/ 検査項	検査項目(歯周ポケット・歯の動揺度・口臭)プロービング								
	10)	/ 分析σ	分析のためのデータ 写真・画像 歯周病・う蝕関する検査								
	11)	,	口間試験								
授業計画	12)	/ *3/3	*シックルタイプスケーラー 相互実習(前歯)								
汉未 司 四	13)	/ *>>									
	14)	/ 43/0	*シックルタイプスケーラー 相互実習 (臼歯)								
	15)	/ *>>									
	16)	/ *歯周	*歯周基本検査:プロービング、動揺度(マネキン)								
	17)	/ PTC	· PMTC	目的と種類							
	18)	/ *歯面	「研磨、バキュ ー	ーム操作(臼歯	†)						
	19)	/ *歯面	「研磨、バキュ ー	ーム操作(前歯	†)						
	20)	/ キュレ	/ットスケーラ-	一 特徴 操作	方法 種類						
	21)	/ キュレ	/ットスケーラ-	- 操作方法							
	22)	/ *グレ	/ーシーキュレ:	ットスケーラー	·(マネキン) ①前歯部 5	/6					
	23)	/ PTC	· PMTC	目的と種類							
	24)	/ 後期期	胡末試験								
成績評価の 方法			割) と実習成績 点の60点以上		点・提出物・出席状況】 。	で評価。					
テキスト	最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導										
	最新歯科衛生士教本 歯周病学										
参考図書											
その他											

基本情報	1 4	年	後期	専門分野	必須	2単位30時間	授業方法 (講義)				
科目名	地域歯科保健活動										
│ 担当教員 │	大分歯科専門学校(付属歯科診療所)勤務、現在に至る。										
授業概要	フェッ	健康と疾病の概念を理解し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進するために、プロフェッショナルケア・セルフケア・コミュニティケアの基本となる知識、技術および態度を学びます。									
	1) 歯科保健指導・健康教育の概要を説明できる。										
	2)										
┃ 到達目標	3)	3) 歯科衛生過程を理解し、概要を説明できる									
P1AZ H M	4)	歯科	衛生過程	星の流れに沿っ	て業務記録を	まとめることができる	00				
	5)	5) 食生活と歯科疾患の関連性を説明できる。									
	6)	健康	教育の対	対象と場の特徴	を説明できる	0					
	1)	/	口腔衛生	生状態診査実習	留 ④口腔衛生	三状態診査実技テスト((PCR)				
	2)	/	口腔衛	口腔衛生管理に係わる指導①歯ブラシ・歯磨剤・ブラッシング方法							
	3)	/	②フロス・歯間ブラシ・タフトブラシ								
	4)	/	患者か	患者からの情報収集 ①主観的情報の把握・医療面接							
	5)	/	患者か	患者からの情報収集 ②医療面接実習①							
	6)	/	③医療面接実習②								
	7)	/	後期中間試験								
145 NIV 31	8)	/	健康教育の概要・進め方・方法・評価								
授業計画	9)	/	地域歯科保健活動のフィールドと特徴 (保育園・幼稚園・学校・事業所・保健所・市町村保健センター・施設)								
	10)	/	地域歯科保健活動のフィールドと特徴 (保育園・幼稚園・学校・事業所・保健所・市町村保健センター・施設)								
	11)	/	健康教育活動に必要な情報収集(幼稚園)								
	12)	/	健康教育活動に必要な情報収集(小学校)								
	13)	/	健康教育活動の準備・練習(幼稚園・小学校)								
	14)	/	健康教育活動の準備・練習(幼稚園・小学校)								
	15)	/	健康教	育活動の準備・	•練習(幼稚園	・小学校)					
	16)	/	後期期	末試験							
成績評価の 方法	定期試験の70%、実技成績(実技点・レポート、出席状況)30%で評価するなお、100点満点の60点以上を合格とする										
テキスト	歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導/保健生態学/保健情報統計学										
参考図書											
その他											